

◇『「当たり前」は当たり前か?』

理事 木田洋一

先日、大学の授業「社会の諸問題」を一回担当して欲しいと依頼され、授業がなんでもありのテーマだけに、内容は何かいいのかと逆に考えてしまいました。

現在は、失われた20年、30年と言われるように変化の少ない時代だけに、本当は当たり前ではないことまで当たり前のように人々が思っていることに危機感を覚えていたので、「当たり前は当たり前か?」を話すことにしました。

これまで授業ではそれこそ社会のいろんなテーマが講義されていましたが、その中で「リクナビが学生の内定辞退確率をその学生の内定後の検索履歴などから予想し、企業に販売していた」という問題も取り上げていました。個人情報取り扱いの問題があるのでリクナビは違反している、情報を買った企業も問題だ、ということで学生も当然のように共感をしていましたので、これを切り口にすることにしました。

内定辞退は企業側から見ると、約束を反故にされる、もっと言うと学生に嘘をつかれたということになります。企業側が内定を取り消したら、契約違反に問われるのに学生の内定辞退は当たり前のように行われている、という状況に違和感を覚えられないか、学生もすぐに企業側になるのに疑問は感じないか、と話をしました。

つまり、立場が違ふと見え方が違ふということです。

さらに、どうして企業と学生の間でこんな不毛の問題が起こるのか?と考えると、「新卒一括採用」という仕組みがあるからだと思います。その背景には、終身雇用という日本の雇用制度があり、正社員と非正規社員の間に大きな格差があるのに正規社員になれるかどうかは新卒一括採用の時でほとんど決まるからです。

でも世界中でこんな「新卒一括採用」をやっているのは日本だけで、これに疑問に思っ欲しいと話をしました。もちろん学生さんにこの制度を変える力はありませんが、当たり前だと思っていることに疑問を持つことが積み重なると社会は変わるのだ、と伝えたかったのです。

授業では内容が多くなるのでさらっと思話をしませんでしたでしたが、物価が上がるのは普通のこと、物価が下がるデフレが30年も続くことが異常なのだ、という話も反応する学生さんが結構いました。

「当たり前」に疑問を持つことは発見や気づきになり、新たな商品、ビジネスにもなります。

逆に言えば、新たなビジネスを生むためには「当たり前」に疑問を持つことが重要ではないでしょうか?

◇『メディアより自分を信じよう』

代表理事 竹原信夫◎

◎新聞読まない時代

新聞を読まない人が増えています。とくに、若い人では自宅で新聞を取らない人がほとんど。ボクが新聞社にいた時代とは、びっくりする様変わりです。

電車に乗っていても、新聞を読んでいる人はほんのわずかです。ニュースを含めて、全てスマートフォンに替わってしまいました。

◎ショックな話

そのお陰で、どこの新聞社とも経営が厳しくなっており、時々新聞記者さんと話していても、皆さん暗い雰囲気です。新聞を読まない人が、ますます増えそうです。そんなことを思っていたら最近、もっとショックな話を聞いてしまいました。若者ではありません。80歳を超えられた中小企業の経営者さんです。

◎明るいニュースがない

「明るい、良いニュースは一つもありません。それに、経営に役立つ情報もありません。新聞やテレビから情報を取ろうとは思いません」と、きっぱりおっしゃいます。そして、「情報はもっぱらユーチューブで得ています」と。

新聞やテレビの情報は、確かに記者やディレクターの主観が入っており、加工が入った情報情報です。逆にユーチューブはストレートな内容が多く、生情報に近いと指摘されます。

◎円安を予想

気がつかないうちに、記者やディレクターの思いが刷り込まれており、気づかないでついつい誘導されてしまいます。その点、ユーチューブは編集スキルがあまりありませんからそのまま、生に近いとおっしゃいます。

そんな生情報から、春の段階で円安を予想され、手持ちの円をドルに換えておられました。「うまいこと行きました」と、にんまりされておられました。

◎情報は注文伝票

だからこそ、事実だけを見て自分の頭で判断したいと言われます。確かに、おっしゃることよく分かります。以前も部品商社の中小企業社長さんで、新聞、テレビ、雑誌を読まない方がおられました。

この方は何から情報を入れておられたか？それは簡単なものでした。そう、注文伝票でした。毎日夕方、地方の代理店から部品の注文が入ります。

◎自分の予測を信じる

その注文の内容を詳細に分析すると、これから景気が良くなるか、悪くなるかがわかるそうです。この分析で在庫量を調整されておられ、景気動向を外さずに、適正な在庫を守っておられるそうです。

お父さんが亡くなられた晩も、会社に出て注文伝票を確認されたそうです。新聞やテレビの景気予測よりも、注文伝票による自分の景気予測を信じておられるのでしょう。

◎結果の説明はうまい

経済の専門家やメディアの景気分析。出てきた経済現象に対して、なぜそうなったかの結果の説明はお上手です。

でも、これからどうなるか？その予測は、得意ではありません。皆さん同じようなことをおっしゃいます。

◎自分の感覚を磨く

電車に乗れば乗客のショッピングバッグをチェックしましょう。たまには百貨店に行き、何が売れているか？売り場をウォッチング。そして、自分の感覚を磨きましょう。最後、責任を負うのは自分ですから。